

会報 第141号
 発行日 平成28年7月1日
 発行・編集 V・G 概論
 代表者 大岡成一
<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

V.G 概論だより

わがまち紹介

「三次元の立体を」
 味わえる須磨離宮公園



須万離宮の離宮道

平成28年6月1日(水) 須磨離宮公園駅に集合し、月見山駅改札を出て、豆腐店と郵便局の間の道に入り、路面にプリントされているバラのイラストをたよりに、ゆるやかな坂道を登っていくと離宮公園の門が見えました。横断歩道がありません。長い陸橋を渡りますが、陸橋の上から丁度、離宮道が見えました。須磨離宮公園は、大きな噴水のある王侯貴族のバラ園でもあります。

公園のスタッフの方(稲葉さん)に、公園の歴史や公園内の施設及び公園内の各種バラの説明を、長時間に亘り分かりやすく説明をしていただきました。

須磨離宮の正式名は「武庫離宮」です。天皇のご宿泊を目的に明治41年に造営が決定され、大正3年に完成しました。往時の離宮は武庫離宮と言い、この名称は「日本書紀」に「孝徳天皇が有

馬温泉からお帰りになる途中に武庫の行宮にお泊りになった」と記されていたことが由来です。完成してすぐ大正天皇、当時皇太子であった昭和天皇やラストエンペラーとして知られる満州国溥儀皇帝らが利用されました。

離宮公園は山すそのに作られているので、海から山へと続く道です。中央が高く今は車道になつているところが、昔天皇陛下が通られた道で、一般人は左右の低くなった道(人民道)を通りました。

月見山 王侯貴族のバラ園と文化植物園「神戸市立須磨離宮公園」があります。

ここは、千年以上の歴史を持つ由緒ある「月見」の名所として知られています。源氏物語の光源氏のモデルとされる平安貴族在原行平が、配流されたこの地の月に、都で見た名月をたづねて都を偲んだとされる場所が須磨離宮公園内の月見台です。

本当にありがとうございました。公園散策後、全貢、源平ゆかりの古刹「須磨寺」を訪問しました。

“57個の眼鏡から” “114の眼が世の中を見えています”

第2回の不用眼鏡の提供ありがとうございました。お陰様で57個集まり、早速「日本スリランカ友の会関西」に送りました。

同会の会報によりますと、同会はスリランカと友好関係を持つ為、各種の活動をされているようです。その一つの不用眼鏡活動は、メガネの三城の協力で度数測定やクリーニングした391本の眼鏡が去年9月スリランカに向けて旅立ったそうです。

私達の分もいつか必要とする人に届けられるでしょう。包装する前、57個の眼鏡にカメラを向けるとフラッシュは要らないと私に声をかけてくれているようでした。スリランカでまた明るい光を取り戻す事でしょう。

次回は今年11月末を予定しています。担当は中川加奈子さんがして下さいませ。

記: 上村 サト子



包装前の57個の眼鏡



箱詰めされた眼鏡

王侯貴族のバラ園
 旧離宮の由緒ある歴史にちなみ、整形式庭園には王



中門前の狛犬

侯貴族のバラ園となつていきます。

バラ園は噴水を中心軸にして、東西に対称形にほぼ同じ品種が植栽されています。

プリンセス・ミチコ、プリンセス・ドウ・モナコ、クイン・エリザベスなど、



バラ園でスタッフの説明を聞く

※詳細はVG概論のホームページをご覧ください。

須磨寺は、須磨離宮公園から徒歩で約15分程度の近くにありません。



須磨寺の龍華橋

大本山 須磨寺
 皇族や王族、芸術家などの名を冠した品種コレクションは、貴人たちの人生に思いを馳せることができ

2016年7月行事予定
大阪万博の跡地が変身!“EXPOCITY”
 月 日:平成28年7月6日(水)
 集合場所:大阪モノレール万博公園駅改札出口:9:45
 行 先:生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」
 内 容:NIFRELは、水族館・動物園・美術館のジャンル
 そ の 他:1)一般参加者は、会員を通じて申込み下さい。
 2)雨天決行です。

2016年8月行事予定
大阪難読地の一つ“柴島”:柴島浄水場
 月 日:平成28年8月10日(水)
 集合場所:阪急京都線南方駅 西改札出口集合:9:00
 行 先:柴島浄水場
 そ の 他:1)浄水場の説明と場内見学を行います。
 2)一般参加者は、会員を通じてお申込み下さい。
 3)雨天決行です。